

「自著を語る」シリーズ

ミクロヒストリーから 読む越境の動態

王柳蘭・山田孝子(編)、国際書院、2023年4月 (<http://www.kokusai-shoin.co.jp/320.html>)



2023年 **7/13木** 17:00～19:00

国際関係学部棟 3215 教室 (オンライン Zoom 配信あり)

オンライン参加の方は参加申し込みが必要です。以下のフォームからお申し込みください
<https://forms.gle/4AyyuEWbKjhWUBXy7> (7月12日(水) 13:00㊄切)

参加費無料

講演者

村橋 勲 Isao MURAHASHI

(静岡県立大学国際関係学部助教/
グローバル・スタディーズ研究センター 研究員)

下條 尚志 Hisashi SHIMOJO

(神戸大学国際文化学研究科准教授/
グローバル・スタディーズ研究センター 客員研究員)

司会

石井 由香 Yuka ISHII

(静岡県立大学国際関係学部教授/
グローバル・スタディーズ研究センター センター長)

越境者にとって故郷とは何か、帰属とは何か。今回の「自著を語る」では、東アフリカと東南アジアの事例から、越境者がさまざまな他者とのかわりあいのなかで、(いかに生きたか)に注目し、彼らがどのように自己を見つめなおし、地域とのつながりを紡いできたかを考える。これは、越境者の〈生〉の物語と実践から、国家による「大きな物語」を脱中心化し、越境者と地域社会との間で交渉、生成される「小さな歴史」を立ち上げようとする試みである。このセミナーでは、書籍の紹介だけでなく、文化人類学を専門とする2人の若手研究者が、フィールドワークをとおした越境者や地域の人々との出会いと対話、そして、調査から論文の着想、作成へと至った経緯について話します。

スケジュール

17:00～17:05 司会

17:05～18:25 講演

18:25～19:00 コメント・質問

